

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4266 移住論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	金曜3限				
教室	D111教室				
代表教員	挽地 康彦				
担当教員	挽地 康彦				
テーマと到達目標	2022年5月、迫害、紛争、暴力、人権侵害などにより故郷を追われた人が初めて1億人を突破した。グローバルな経済構造、地政学的暴力、環境破壊や気候変動などの要因が、大きな抑圧となって生存の危機とライフチャンスの喪失をもたらし、移動を強いているのだ。本講義では、再構築されつつある現代の人間の移動パターンを考察しながら、移民・難民の流入を管理する日本の主権的権力に対して批判的な思考を養っていく。				
概要	近代以降のグローバルな人の移動と出入国管理の諸問題をラディカルに分析しつつ、主権国家による他者の統治を「ポストコロニアル」「収容」「人種主義」という問題系から探究する。戦後日本における出入国管理の誕生から近年の改定入管法までの動向を踏まえながら、現代日本の移動の管理の様相を考察するところが特徴であろう。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	日本における入管法の改定①：移民人口の動態				対面授業
第3回	日本における入管法の改定②：「出入国管理及び難民認定法」の行方				対面授業
第4回	帝国の逆襲①：ポストコロニアルとは何か				対面授業
第5回	帝国の逆襲②：旧植民地出身者の排除				対面授業
第6回	戦後日本の入管政策の変遷①：外国人労働者政策				対面授業
第7回	戦後日本の入管政策の変遷②：技能実習制度				対面授業
第8回	戦後日本の入管政策の変遷③：技能実習制度 (つづき)				対面授業
第9回	戦後日本の入管政策の変遷④：日系ブラジル人				対面授業
第10回	戦後日本の入管政策の変遷⑤：日本人移民の歴史				対面授業
第11回	戦後日本の入管政策の変遷⑥：難民政策				対面授業
第12回	戦後日本の入管政策の変遷⑦：難民政策 (つづき)				対面授業
第13回	戦後日本の入管政策の変遷⑧：医療と社会保障				対面授業
第14回	戦後日本の入管政策の変遷⑨：ヘイトスピーチ				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	成績は、出席点 (配点30)、学期末に提出するレポート (配点70) で評価する。				
履修にあたっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業資料 (レジュメ) は、和光ポータルを通じてデータで配信する (印刷物は配布しない)。</li> <li>* 授業内で質問できない場合は、和光ポータルの「授業QA」を活用すること。</li> <li>* 期末試験は実施しない (期末レポートの提出に代える)。</li> <li>* この授業は、実務経験のある教員による授業です。日本における移住者支援のNGO・NPOの活動経験を授業内容に反映させます。</li> </ul>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限 (抽選) 授業の優先条件					

## ◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	特に指定しない。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業のなかで適宜指示する。	参考文献(ISBN)	